



学校だより



令和6年11月29日
12月号
調布市立第一小学校
校長 樋川 宣登志

<http://www.chofu-schools.jp/chofu-1sho> TEL042(481)7636

学芸会を終えて

副校長 山崎 清香

今月15・16日に学芸会が行われました。第一小学校として学芸会を行うのは、6年ぶり、どの学年も初めての経験です。

「心を一つに さあ始めよう 思い出に残る第一小の物語を」をスローガンに一所懸命練習した子どもたちは、両日ともに、とても生き生きして、正に輝いていました。

学芸会の取組の中で見られた子どもたちの良さや頑張りは数多くあります。

これまで経験したことのない役や楽器に挑戦した児童はたくさんいます。毎日台詞を何度も言い、当日まであきらめずにコツコツと練習に励んでいました。

高学年は、自分で考えて実行する場面が多く見られました。台詞の言い回しや立ち位置など、こうした方が良いという教員の指導はもちろんありました。さらに、自分たちでどうしたらもっと伝わるかを考え台詞を追加したり、どうしたらもっとよりよい演技になるかを練習時間だけではなく休み時間なども使ったりしながら練習していました。

今、学校で進めている教育は子どもたちが「何を知っているか」だけでなく、「知っていることを使ってどのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか」ということであり、

知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力や人間性など情意・態度などに関わるものの全てを総合的に育んでいくことを重視しています。日々、対話やICTを活用するなど、それを意識した授業を行っています。今回行われた学芸会はその学びを大いに育む機会の一つだと考えています。

一般的に子どもたちの学びについて、テストの結果や成績に目を向けがちです。もちろんそれも大切なことです。しかし、皆で考え、仲間と試行錯誤し、協力しながら新たなものを作り上げていく学びも大切です。学芸会などの行事は、未来を生きる子どもたちにとって大きな意義があります。

ご多用の中、ご参観いただいたご来賓、地域の皆様、子どもたちへの温かい拍手やお声がけに感謝申し上げます。また、保護者の皆様には、子どもたちの体調管理や衣装等の準備、ご家庭での練習などいろいろ支えていただきました。ありがとうございました。

2学期も残り12月を残すのみとなりました。学芸会の取組を振り返り、今後の学習や生活がさらによりよくなるよう、つなげていきます。今後とも、学校の取組に対して、ご理解とご協力の程よろしく願いいたします。

12月の生活目標 身のまわりの整理整頓をしよう

学習用具など、自分の持ち物を整理できているでしょうか。学習の準備を手際よくするためにも、整理整頓の習慣を育て、物をなくしたり落としたりしないで大切にすることを養っていききたいと思います。